

第9回（令和3年度）GKP広報大賞 実施要領

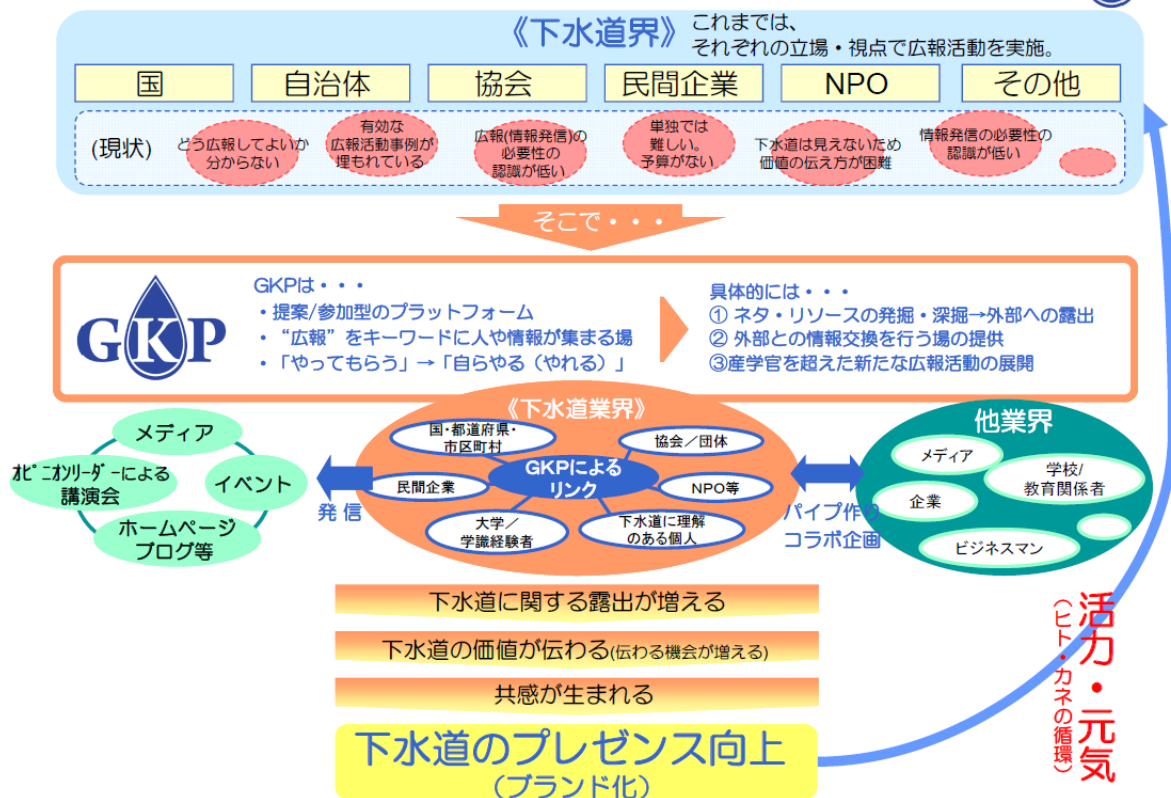
1. GKPについて

下水道は、国民生活を足下から支える最重要インフラであり、国民の共有財産です。今後下水道事業が、建設中心の時代から本格的な管理運営の時代を迎えるにあたり、この財産を未来へ引き継ぎ、活かしていくためには、利用者であり、財源の負担者である国民一人ひとりの皆様に下水道の機能・役割等の理解を深めてもらうことが重要です。また、わが国の将来を担う、子供や若者に、下水道の魅力や可能性に共感してもらい、夢を持って下水道界に入り活躍して頂くことも必要です。さらには、国内外における成長戦略の柱として、下水道界が有する資産・技術・人材を「水ビジネス」展開の戦略資源と捉え、資源・エネルギー再生活用による産業振興やその輸出・国際協力等に関心が向けられています。

しかしながら、下水道は、いったん整備が進むと目につきにくい当たり前の存在になり、関心が薄れ、事業に対する理解も得にくくなりがちです。

このような状況のもと、下水道の普及拡大を中心に訴えてきた広報から転換し、時代の変化に応じた下水道広報を展開すべく、下水道界の産学官のセクターを超えた情報共有や下水道インフラの価値を高める他業界との新たなマッチングを目指した交流・連携のための母体として「下水道広報プラットフォーム（GKP）」が平成24年6月に設立され、新たな広報活動の発案・実施・支援に取り組んでいます（詳細は、<http://www.gk-p.jp/>を参照下さい）。

「下水道広報プラットフォーム(GKP)」の活動イメージ GKP



GKPが果たす3つの機能

これまで下水道界で展開されてきた広報活動を外部につなぐとともに、産学官の垣根を超えた新たな広報活動を展開する下水道界のプラットフォームとして機能。

① 発掘・深掘・露出	② 場の創出(提供)	③ 特別企画の実施
<p>▽全国各地に埋もれているネット・リソースの発掘・深掘</p> <p>▽適切なターゲット(マスコミ・首長・教育界・婦人会等)への情報発信</p> <p>【活動事例】</p> <p>① GKP広報大賞</p> <p>② 会員が持つメディア(パイプ)の活用による露出機会の増大</p>	<p>▽下水道界の各プレイヤーが繋がりたいと考える対象(人・情報・組織等)とつながる場の提供</p> <p>【活動事例】</p> <p>① 若手職員の情報ネットワーク「下水道場」</p> <p>② 下水道展「学生ツアー」の開催支援</p> <p>③ 女性のキャリアアップ支援「GJリンク」</p>	<p>▽産学官の垣根を超えたGKPならではの新しい企画の実施</p> <p>【活動事例】</p> <p>① エコプロダクト「こども下水道場」の企画実施</p> <p>② 異分野・異業種交流とコラボレーションによる広報</p>

リソース(人・資金)の確保&下水道のイメージアップ

2. GKP広報大賞とは

本賞は、下水道広報の現場に光を当て、他業界への効果的な訴求など下水道インフラの価値向上、ユーザーの下水道への関心向上、下水道に就職を希望する学生の増加等を目的とする優れた広報活動の取組事例を発掘し、表彰します。

併せて、応募された取組事例を集約して発信することで、全国の広報担当者が参考にし、広く共有できる「事例集」としての役割を果たします。例えば、表彰された取組事例の企画立案から実施に至るまでの課題の解決策、創意工夫や試行錯誤等の情報を共有し、当該取組事例におけるアイデアや技術等の横展開を後押しします。

3. 対象

下水道の役割や魅力を広く知らしめ、下水道の価値を高めるために行われた広報活動であれば、どのような団体のどのような活動でも対象とします。

(※) バリエティー豊かな「事例集」になるよう、積極的にご応募下さい！

GKP 広報大賞には、優れた事例を表彰する目的に加え、全国から集めた広報事例を広く共有する「事例集」としての役割があります。

「過去に優れた事例が表彰されている」などの理由で応募を控えるケースが見受けられますが、共有情報をより豊かにしていくためにも、皆さまの積極的な応募をお願いします。

例 1) ポスター

例 2) マンホールカード活用

例 3) 出前授業

などなど、類似事例が多いジャンルでも、個々のアイデアや発想は、たとえ小さな工夫であっても全国の広報担当者の参考になりますので、是非ご応募ください。

4. エントリー部門

(1) 行政部門

地方公共団体あるいは地方公共団体が関係する法人

(2) 民間部門

民間企業あるいは民間企業の関連法人

(3) 学校・NPO・任意団体等部門

学校や研究室、NPO、任意団体のほか、一般市民（個人でも可）など、上記（1）にも（2）にも該当しない者

5. エントリーの方法

エントリーいただくためには、以下の資料・データが必要です。

(必須)

- ・エントリーシート
- ・プレゼンテーション動画

(任意)

- ・付属資料

【エントリーシートについて】

- (1) エントリーシートの記入は事例1件につき1枚(必ずオモテ・ウラの両面1ページに収めてください)のみとします。ただし、エントリー事例の中で使われた広報素材等を付属資料として提出することができます。
- (2) エントリーシートのファイル形式はWordとします。
※Wordがご利用いただけない場合はご相談ください。

【プレゼンテーション動画について】

- (1) パワーポイントなどによるプレゼンテーションの様子を撮影した動画をお送りください。スマホ撮影可。ファイル形式はMP4(.mp4)など一般的に普及しているものに限ります。
- (2) 動画時間は3分を目安とさせていただきます。長いものは撮り直しをお願いすることがあります。
- (3) 動画はYouTube等で公開させていただきます。予めご了承ください。
- (4) 動画の出来栄を審査するものではありません。事例の特徴等、アピールしたい情報が入っていることが重要です。

【付属資料について】

- (1) 今回エントリーいただく広報事例が、書籍やポスター、映像、学習キット、グッズなどの場合、エントリーシートのほかに、その実物またはコピーをお送りいただくことができます。
- (2) 提出いただいた付属資料は返却いたしません。

【エントリーシート、動画、付属資料の送信・送付について】

- (1) 大容量ファイル転送サービス等によってお送りいただく場合は、件名に「GKP 広報大賞エントリー」と記載し、下記アドレスまでお願いします。

受付アドレス (E-Mail) : entry@gk-p.jp

- (2) 必要ファイルや動画等を記録媒体に保存し、郵送でお送りいただく場合は、下記までお願いします。送料は応募団体（個人）でご負担ください。

〒101-0047

東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル7階
広報課 GKP 広報大賞エントリー係

- ※ いずれも発信元（発送元）を明記願います。
- ※ GKPの受付窓口で確認次第、エントリーシートに記載されたアドレスへ受付確認のメールを返信させていただきます。この返信メールの到着をもってエントリー完了となります。なお、エントリーが確認されるまでに多少お時間がかかる場合がございます。

7. エントリーの締切り

令和3年11月5日（金）17時まで必着（厳守願います）

8. 審査について

応募件数が20件を超えた場合、エントリーシートとプレゼンテーション動画をもとに一次審査を行い、最終審査に進む20件を絞り込みます。

最終審査は公開（オンライン）で行います。

審査基準は参考資料1をご覧ください。

最終審査：令和3年12月3日（金）13時～17時

最終審査には応募いただいた皆さまにオンラインでご参加いただき、3分間程度のプレゼンテーションと質疑応答に対応していただきます。

プレゼンテーションは、応募時に作成いただいた動画を改めて流すことでも対応可能です。

全団体のプレゼンテーションと質疑応答を踏まえ、各賞を決定します。

なお、最終審査の様子はアーカイブでも公開する予定です。

9. 表彰

審査結果はGKPのサイト等で公表します。

また、表彰式は下記受賞団体セミナーの中で行います。

10. 受賞団体セミナーの実施

令和4年2月～3月をめどに、GKP 広報大賞の主要な賞を受賞された団体によるセミナーの実施を予定しています。

同セミナーを通し、優れた事例をより多くの方に知っていただく考えです。

11. 過去に受賞した事例について

過去にGKP広報大賞を受賞した事例については、原則として再度エントリーすることはできません。但し、同一の事例であっても、取組が発展・レベルアップした等新たに評価されることが期待できる要素がある場合については、そのような内容が分かるようエントリーシート（プレゼンテーション動画）に記載の上、エントリーしていただくことができます。

12. お問い合わせ

お問い合わせは電子メールにて、GKP事務局（公益社団法人日本下水道協会内、E-Mail: entry@gk-p.jp）までお願いします。

<参考資料1>

G K P 広報大賞の審査基準

審査基準は下記の通りです。

数値化できる項目に関しては、極力、具体的な数字をもって審査します。

審査基準

<前提>

下水道インフラの価値を高める活動であること

<過程および実行>

1. 戦略が優れていること
2. 戦略に基づく企画やアイデアが斬新であること、優れていること
3. 実行者（伝え手）に優れたスキルがあること
4. 今までに無いネットワーク等を開拓して実行されていること
5. メディア等を取り込む工夫があること

<結果>

1. ターゲットに合わせて下水道の役割・魅力等が適切に伝えられていること
2. 多くのターゲットに下水道の役割・魅力等を伝えていること
3. 効果的な取り組みが継続的に行われていること
4. 社会的インパクト、関心が高いこと
5. 少ない予算・人員、短い期間、ちょっとした工夫で成果を上げていること
6. 従来の取り組みに対して、大きな改善が見られること
7. 他団体が参考にしやすく、波及性が見込めること

●**グランプリ・準グランプリ**

審査ポイントによる総合評価で最も優れている、またはこれに次ぐと認められた活動事例をグランプリならびに準グランプリに選定します。

●**部門別表彰**

グランプリ・準グランプリに次いで優れた事例を部門別に表彰します。

- ①行政部門
- ②民間部門
- ③学校・NPO・任意団体等部門

●**審査委員特別賞**

審査基準のうち1つでも突出した項目があるなど、上記以外に審査委員会で評価が高かった事例。

以上